



真宗大谷派 存明寺通信

NO.218

2024年(仏歴2555年)3月1日



薪まきの火ひを絶たやすわけにはいかない
私まが(陶芸たうげいを)やめるわけにはいかない

篠原しのはら 敬たかし (石川県いしかわ珠洲市すずし 陶芸家たうげいか)

能登半島の珠洲市に友人がいる。名前は篠原敬さん。大谷派の僧侶仲間としてお付き合いをしてきた。彼は僧侶をやめて、途絶えていた珠洲焼の陶芸家となった。
昨年5月の地震に続いて壊滅的な被害を受けたという。しかし、彼は明るい声でこう言った。
「薪の火を絶やすわけにはいらない。私が(陶芸を)やめるわけにはいかない」と。
何度も何度も困難に直面しても、人は光や火を絶やすわけにはいらない存在。彼の言葉が、そのことを私に伝えてくれた。
私もこの地で仏法の火を絶やすわけにはいかない。被災地を通して、そう問われた気がした。(住職)

存明寺のHP <https://zonmyoji.jp>

存明寺 Instagram とHP 定期的に更新中!

お寺の活動や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画など、定期的に更新中です。ぜひご覧ください。

↓ インスタ ↓

↓ 存明寺 HP ↓



ZONMYOJI_SAKAI



親鸞 ゆさぶる言葉

愚者(ぐしや)になりて往生(おうじょう)す

住職 酒井義一

若い頃、思い通りにならない現実に出会い、生き辛さを感じていた。その頃、自分の中にある暗さをひた隠し、明るい自分を懸命に演じていた。そんな私を見て、先を歩む先輩僧侶が、言葉をかけてくれた。「暗いということは、どこか生き方が間違っている証だ。だから、その暗さを大切に」と。

暗さを大切に。そのような言葉はそれまで聞いたことがなかった。暗さを隠そうとしていた自分に、とても強く響いた。励まされたように、とてもうれしかった。そして、こう思った。この人に影響を与えた親鸞という方は、いったいどのような方なのだろう、自分もその人に出遇ってみたい、と。

愚者になりて往生す

親鸞の言葉 末燈鈔

(意識) 自らの愚かさに立ち帰って、人は生きていく。

親鸞は、最晩年の八十八歳の頃に、若い頃に聞いた法然上人のこの「愚者になりて往生す」という言葉が忘れられない、と語られた。なぜこの言葉がそれほどまでに忘れられなかったのか。それが私には理解できなかった。

しかし、今思う。親鸞は、自らの愚かさを懸命に消そう、隠そうとしていたのではなかったのか。だからこそ、「その愚かさを大切にな」という法然上人の言葉に驚き、励まされ、大事に抱きしめたのではなかったのか。

自分が出遇えたひとつの言葉を、大切に抱きしめながら、生涯をかけて歩み続けた人、親鸞。その歩むすがたの中にこそ、我が宗祖である親鸞が、今もおられる。(了)

月間『同朋』(東本願寺出版)に連載していた住職のコラム
2023年8月号より転載。



◆存明寺総代世話人会が再出発!

コロナにより活動を縮小していた総代世話人会ですが、今年から新メンバーも加わり再出発します。そして2026年(令和8年)11月、ここ存明寺で「慶讃法要」をお勤めすることが正式決定しました。詳細はiguezれご報告します。

(敬称略)

【総代】(3名)

佐藤尚宏・藤井俊五・小林和子

【世話人】(23名)

井ヶ瀬恵子・井上憲司・浮葉貴大
内井照江・岡田 真・尾崎 昇
岸木 勉・熊崎尚登・佐藤友成
城ノ下恭博・清光正孝・清光やす子
関口昌雄・高橋昭彦・竹谷タケ子
長島 巖・藤井良子・松本維邦
三好浩一・山田政孝・吉山浩文
吉山綾子・渡辺一真

【存明寺】

酒井義一・浩美
酒井大樹・瑠美
酒井あゆみ

(5名)



各行事の案内文

各案内文はHPから閲覧可です

永代経法要

5月3日に行われる「永代経法要」、今年は特別企画です。

【その1】荒山淳さんの法話

コロナによってお越しいただくことが出来なかった荒山淳さんを、あらためてお招きし、ライブで法話をさせていただきます。今を熱く生きる名古屋のリーダー荒山さん、必見・必聞の法話の時間です。

【その2】多数の僧侶やご門徒の同朋唱和による法要をお勤めします。読むのは「仏説阿弥陀經」。

どうぞ一緒に唱和ください。

法話コンサート
荒山淳さんのヒナタカコさん
存明寺永代経法要

2024年(令和6年) 5月3日(金) 夜法要(献花)

日程 11:30 受付・お参り (真言宗御室本山(浄土心))
12:30 法話 荒山 淳さん (法要司) (永代経法要)
13:30 永代経法要 (ハイハイの子どもさんで)
14:30 ヒナタカコさん「いのちの虹コンサート」

会場 真宗大谷派 存明寺 (真言宗御室本山(浄土心)11-1)

↑「存明寺永代経2024」で検索

存明寺「真心の会」(同朋の会) 2024年のご案内

親鸞聖人に人生を学ぶ

2024年(令和6年)

3月9日(日) 14時 - 存明寺(浄土心) 法要司: 藤井俊五氏
4月10日(日) 14時 - 存明寺(浄土心) 法要司: 井上憲司氏
5月11日(日) 14時 - 存明寺(浄土心) 法要司: 井上憲司氏
6月9日(日) 14時 - 存明寺(浄土心) 法要司: 井上憲司氏
9月14日(日) 14時 - 井上憲司氏(法要司) & 佐藤尚宏氏(法要司)
10月12日(日) 14時 - 井上憲司氏(法要司) & 藤井俊五氏(法要司)
11月16日(日) 14時 - 堀ノ下真理子氏(法要司) & 藤井俊五氏(法要司)
12月14日(日) 14時 - 佐藤尚宏氏(法要司) & 藤井俊五氏(法要司)

↑「存明寺樹心の会」で検索

特別企画 夏の法話会 in 存明寺

2024年(令和6年) 7月21日(日) 10時受付

講師: 和田英昭さん 題目: 「こんな生き方は、イヤだ。」

7月21日(日) 10時受付

講師 和田英昭さん (浄土真宗本願寺派 福智寺住持)

題目 「こんな生き方は、イヤだ。」

場所 真宗大谷派 存明寺

会場 2024年(令和6年) 7月21日(日) 10時受付

【和田英昭さんプロフィール】
1979年生、大阪生まれ。
浄土真宗本願寺派 福智寺住持。

【法話会ご案内のメッセージ】
「たいして生きているおかげで、お参りして下さる方が増えています。お参りして下さる方が増えています。お参りして下さる方が増えています。」

18:00 受付・挨拶
18:30 法話 (和田英昭さん)
19:00 法話 (和田英昭さん)

↑「存明寺夏の法話会」で検索

樹心の会

【その3】ヒナタカコさん
いのちの灯コンサート
存明寺住職と坊守が自信をもって推薦するシンガーソングライター・ヒナタカコさんのコンサートが行われます。ヒナさんは真宗高田派の僧侶で、歌を通して仏さまの心を届けておられます。YouTube で曲を聞くことができます。住職&坊守のおすすめの曲は、「むこう岸」「いずこの空」「夢のかなた」などです。ぜひお聞きになつてください。そして5月3日はぜひお寺へ!

月に一回行われる同朋の会(聞法会)です。本堂で正信偈のお勤めをした後、毎回2名の方よりお話をさせていただきます。

3月 藤井俊五氏&住職
4月 佐藤尚宏氏&副住職
5月 小林和子氏&井上憲司氏
6月 岡田真氏&熊崎尚登氏

夏の法話会

その後グループに分かれて語り合いを行います。
一人ひとりが思いを言葉にし、みんながその声をしっかりと聞く。そんなあなたたかな雰囲気あふれるお寺のひろばです。お散歩に出かける気軽さで、お出かけください。

2026年に行われる存明寺慶讃法要の記念事業として、今年から「夏の法話会」を開催することとなりました。
慶讃法要とは、人と生まれた私に、仏さまの教えに出会うために開かれる大切な法要です。
当日は、最初に参加者から今の思いなどを語っていただき、そのお話を受けて講師の和田英昭さんに法話をさせていただきます。まさにライブの呼応の時間です。
終了後にはお寺で懇親会も予定しています。教えに出会うひととき、ぜひご参加ください。

お寺のひろば 2024年（令和6年）

3月9日（土）	14時	樹心の会
3月15日（金）	13時	おそうじの日
3月20日（水）	11時と13時	春のお彼岸法要
3月30日（土）	14時	グリーンフケアのつどい
4月13日（土）	14時	樹心の会
4月26日（金）	10時	おみがきのつどい
5月3日（金）	12時半	永代経法要
5月11日（土）	14時	樹心の会
6月8日（土）	14時	樹心の会
6月29日（土）	14時	グリーンフケアのつどい
7月1日（月）	13時	おそうじの日
7月6日（土）	11時	新盆法要
7月13日（土）	11時と13時	おぼん法要
7月21日（日）	10時半	夏の法話会
9月6日（金）	13時	おそうじの日
9月14日（土）	14時	樹心の会
9月22日（日）	11時と13時	秋のお彼岸法要
9月28日（土）	14時	グリーンフケアのつどい
10月12日（土）	14時	樹心の会
10月18日（金）	10時	おみがきのつどい
10月22日（火）	24日（木）	真宗本廟奉仕団
11月2日（土）	14時	報恩講のゆうべ
3日（日）	未定	報恩講（田中頭昭氏）
11月16日（土）	14時	樹心の会
12月14日（土）	14時	樹心の会
12月21日（土）	14時	グリーンフケアのつどい
1月1日（月）	10時	修正会

子ども会・子ども食堂・子育てサロン・真宗聖典輪読会も、随時開催中です。

お寺にっとう人びと



↑ 帰敬式 2023年12月



↑ 報恩講 2023年11月



↑ 樹心の会 2023年のはる



↑ 子ども会 2023年なつ

◆私を照らすひかりの言葉

人間の一番醜い姿とは
自分の嫌なものを
排除している姿

人間を
忘れない

私が願いに 背を向けても
願いは 私に 背を向けない

東京都世田谷区北鳥山4-15-1
 真宗大谷派 存明寺(ぞんみやうじ)
 住職 酒井義一(しゅんぎいち)
 TEL 03-3300-5057
 FAX 03-3300-5880
 E-mail : sakai@zomyoji.jp

【あとがき】

▼能登半島地震によって被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。能登にお寺に募金箱を設置しました。能登に生きる人々へ直接お届けします。どうぞご協力ください。

▼2026年秋には「存明寺慶讃法要」が行われます。この法要を、人と生まれた私が、教えに出会う法要と位置づけ、教えに触れる様々な催しを実施していきます。

▼その動きの中で大切にしたいことは、「一人の話はしっかり聞く」とこと。「自分の言葉で自分を語る」こと。存明寺十カ条の2・3番目の言葉です。それがこの世を生きる私たちの実践課題なのではないでしょうか。

